

開会

【都市経済部次長あいさつ】

本日は、都市計画マスタープランの原案について協議をお願いさせていただきます。10月にはパブリックコメントを実施し、市民の皆様から意見をいただいた上で、年度内に新たな都市マスを策定する予定です。皆様には忌憚のない議論をいただきたいと思います。原案とあわせて、概要版を作成しましたので、概要版についても御意見をいただきたいと思います。

また、図が作成しきれていない部分が数箇所ありますが、最終的には図を入れて作成します。パブリックコメントまでには図も入れた最終案を委員の皆様にお届けします。

それでは、本日も活発な議論をお願いいたします。

報告事項 前回検討委員会の振返り等

協議事項 守山市都市計画基本方針（都市計画マスタープラン）の原案について

【主な意見】

（中心拠点ゾーンの目指す姿について）

- ・ 中心拠点ゾーンの目指す姿が「駅前空間」となっているが、土地利用の方針では「駅まち空間」となっている。「駅まち空間」の方が広い意味で捉えられているので、「駅前空間」よりももう少し広い言葉の方がいい。国土交通省でも「駅まち空間」という言葉を使っている。

（市民交流ゾーンの目指す姿について）

- ・ 市民交流ゾーンは、市民が交流することを目的としているため、「市民」というキーワードを目指す姿に加えた方がいい。

（守山駅から公共公益施設ゾーンまでの都市づくり（図58）について）

- ・ 駅前から公共公益施設ゾーンまでを考えるのであれば、中山道は重要であるため、図に加えてはどうか。
 - ・ 市民交流ゾーンでは河川の軸も重要だが、駅前から立命館守山までの通りや大津湖南幹線も主要な軸になるので追加した方がいい。追加することによって、P86市民交流ゾーンの図とも結びつく。
 - ・ 「中心市街地活性化基本計画の取組等により主要自然環境軸の形成」と書いているので、それだけをやっているように見えてしまう。表現を修正した方がいい。
- ⇒図58を作成した趣旨は、南部都市地域では市民交流ゾーンだけが市街化調整区域で、公共公益施設ゾーンは市街化区域に編入し、都市拠点では中心市街地活性化基本計画の取組を進め、この範囲で一体的に都市づくりを行ってきたことを示したいためである。一体的な都市づくりに当たっては、主要自然環境軸という概念を持っているということを表現したい。

（市民交流ゾーンの土地利用の考え方（図59）について）

- ・ 図58に関連して考えると市民交流ゾーンが拡大されているため、前後関係が分からない。図59の縮尺を小さくして、駅と市民交流ゾーンのもう少し先までが入るようにすれば駅からの一体的な整備であるということが表せる。
- ・ 図58には主要自然環境軸やほかの主要な軸を追加した方がいい。

（公共交通について）

- ・ネットワークが公共交通だけの視点になってしまっていて、P59 公共交通の方針が、地域公共交通計画の範囲をやるということしか書けていないように思う。ネットワークを考えたときに、「公共交通の利便性が低いものを補完するようなサービスなどについて検討する」と記載することで今後何か展開できる可能性が残る。アンケートの結果に答えることにもなる。

（進行管理と見直しについて）

- ・評価をどうしていくかということをきちんと示しておいた方がいい。都市マスの中で5年が経過した時点で評価をするのか、毎年評価をするのかその辺りのことをもっとはっきりさせておく必要がある。

協議事項 概要版について

【主な意見】

（概要版について）

- ・市民に対しての説明の重要性からすると推進方策の割合が少ないように思うので、1 ページ程度設けても良いのではないかな。

（市民向け概要版について）

- ・市民は、自分が住んでいる地域のことが知りたいと思うが、これにはその内容がない。全体的なことより、この地域はこういうことをするといった具体的なことがあった方がいい。
⇒この資料をきっかけに本編を見てもらうことを狙いとしているため、必要最低限の情報とし、細かい内容や図は、入れていない。
- ・詳しいことを知りたい人を QR コードで本編に誘導するなどしてはどうか。

閉会